

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	物流・産業	26年度事業・施策評価結果			責任者	建設部 事業推進課長	
施策名	国際・国内海上輸送機能の強化	成果	コスト				
事務事業名	鍋田ふ頭コンテナターミナル施設改良事業	継続	維持	維持	連絡先	052-654-7921	
					連携課	関連事業担当	
目的	対象(誰・何を)	鍋田ふ頭コンテナターミナル荷役機械(ガントリークレーン1~5号機)				事業 期間	平成23~27年度
	意図(どうい う状態にしたいか)	荷役機械を改良し、延命化(電装品等交換、塗装等)を図ります。					
概要	整備場所:愛知県弥富市富浜(鍋田ふ頭コンテナターミナル) 内容・規模:中国、アジア貨物の重要な物流拠点であり、安全かつ安定的に荷役できるように荷役機械を改良します。老朽化が進んでいる荷役機械5基を無利子貸付金を使用して延命化します。 総事業費:約11億円(うち、港湾管理者無利子貸付金総額約3億円)				根拠 法令等	港湾法55条の9	
27年度の実施予定	鍋田ふ頭第2バースの荷役機械(5号機)改良について、無利子貸付の実施に向けた調整を行います。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
					関連 シート		

2 DO(実施)

27年度に実施した 内容・結果	国及び名古屋港埠頭㈱と無利子貸付の実施に向けた調整を行い、名古屋港埠頭㈱に対し、無利子貸付を行いました。名古屋港埠頭㈱が、無利子貸付金により、荷役機械(5号機)の電装品等の交換及び塗装を行いました。					
コスト	単位	25年度	26年度	27年度	合計(平成23年度~)	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	247,000	142,000	340,000	1,101,000	平成27年2月に名古屋港埠頭㈱が特例運営会社となり、貸付割合が変更(国2:港湾管理者2:特別転貸債3:民間資金3⇒4:4:1:1)したため、平成26年度の事業範囲の見直しを行いました。
人件費	千円	1,402	1,321	981	5,256	
合計	千円	248,402	143,321	340,981	1,106,256	

3 CHECK(検証)

指標名		25年度	26年度	27年度	最終目標	27	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
事業進捗率(%) (進行管理型)	目標	-	81.9	100.0	100(累計)		事業進捗率は、総事業費を100とした事業費の割合です。	
	実績	56.2	69.1	100.0				
	事業進捗状況(27年度)			順調、やや遅れ・遅れ				
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	予定していたすべての荷役機械(5基)について、改良が完了し、延命化を図ることが出来ました。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○ 鍋田ふ頭コンテナターミナルは、中国・アジア貨物の重要な物流拠点であり、老朽化した荷役機械を改良し、安定的な荷役環境を維持する必要があります。そのため、港湾管理者が主体となって無利子貸付金の調整を行う必要があります。						
有効性	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○ 老朽化した荷役機械を改良し、安定的な荷役環境を維持することは、上位施策である「国際・国内海上輸送機能の強化」に貢献すると考えております。						
	期待どおりの成果が得られているか?	○ 改良を行った荷役機械については、安定的な荷役環境を提供できていることから、成果が得られていると考えております。						
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 最小のコストで事務を行いました。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	28年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
完了			鍋田ふ頭コンテナターミナルにおける荷役機械5基の電装品等の交換及び塗装が完了したため。
課題	28年度以降の取組		